

第3回 BOX 展 —30cmx30cmx30cm の空間を遊ぶ—

開催報告

BOX 展実行委員長 山崎和子

会 期：2019年7月2日（火）～8日（月）

建築会館1Fギャラリー

出品者：39名（会員21名・一般18名）

作品数：43点（会員24点・一般19点）

来館者：220名

審査委員長：南 三一郎

審査委員：可見才介・坂上直哉・本 耕一・廣角京一
小谷純造・立石博巳・飯田郷介・石田真人

多数の作品数で大変変化に富んだ楽しい遊びの空間の展覧会が出来ました。

表彰式・レセプションに岡本会長はじめ多数の参加者で盛り上がり、オーデエンス賞は203票の投票がありました。協賛は昨年より2社増えて株式会社クサカベ・株式会社文房堂・光ステンド工房・株式会社名村大成堂・株式会社アクエアスで副賞も12色絵具、筆セット、スケッチブック、キャンバス、フランス製ガラス見本のある表彰式でした。

今回はガラス見本をレセプション参加賞として皆様にお

配りしました。

展覧会終了後来年も楽しみに参加したいと嬉しいお言葉を頂きました。

第4回BOX展2020年6月5日（金）～11日（木）4日搬入、12日搬出に決定しました。

最優秀賞	川口 満	（一般）	『記憶の街』漆
優 秀 賞	川口知子	（一般）	『Urban Space』革
	郡 和子	（一般）	『天空』ガラス
佳 作	横沢和則	（一般）	『Cheese○House○Mouse』 硬質・発泡アクリル・ぬいぐるみ
	池田嘉文	（会員）	『エンドレス ドリーム』ブロンズ
	神 まさこ	（会員）	『Lets Dance』木（炭）錫
	松本治子	（会員）	『矢の先をハート♡にかえて』 大理石 セメント
特 別 賞	久常久美子	（逝去）	『歩I』針金 紙ネンド アクリル糸
オーデエンス賞	中川広葉	（一般）	『金属昆虫』 ステンレス コールテン銅

審査講評

審査委員長 南 三一郎

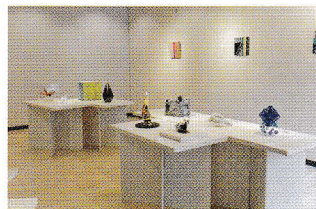
BOX 展は30センチ四方の空間の中に、濃密な自己表現を結晶化する試みです。3回目となる今回も43点の作品が揃いました。屋内展示と言うこともあり、比較的自由に素材を選択することができ、陶器やガラス、金属などに加え、テキスタイルから皮革、紙、漆、石膏など、多彩な素材のユニークな力作が並びました。審査は前回にならい、独創性50点/技術的完成度30点/空間との応答性10点/その他特筆すべき加点10点/合計100点を各審査委員が配点し、その合算点を参考に7点の入賞作を定めました。評価の配点については、空間応答性により加点をと言う意見も

あり、今後基準の再検討の機会を持ちたいと考えますが、配点表による数値化によって、審査はかなり公正でかつスムーズに行われたと思います。

最優秀作の川口満氏の作品「記憶の街」は、漆という素材を用い、都市の印象を極めてシャープに表現している点が評価され、高得点で選定されました。佳作の各作品も技法を駆使し、独自の世界観を表現している点が評価されています。特別賞は本年4月に逝去された久常久美子氏の作品に贈られました。



会場風景



会場風景

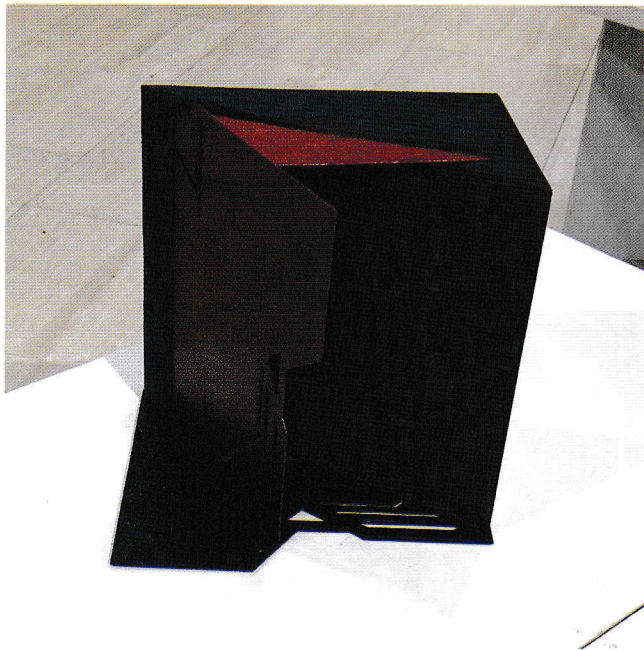


表彰式



オープニングパーティー

●最優秀賞



川口 満 (一般) 記憶の街
漆
うつりゆく街の表情を表現してみました。

●優秀賞



川口知子 (一般)
Urban Space
革
環境に優しい事柄等を頭
におきながら、近未来的
な発想の都市を想像し、
製作してみました。



郡 和子 (一般) 天空
ガラス
どこまでも、どこまでも、
深く明るい透明な空の奥
の奥の奥。遠く輝く清ら
かな世界への希求。

●佳作



神 まさこ (会員)
Let's Dance
木 (炭) 錫
動きたい、歩きたい、踊りたいという思
いをどこまで静物の中で表現できるの
か?生木を彫るということだけでなく、火
によって燃やされ違う物質になった時、
それでもその思いが出さるかどうかに挑
戦しました。



池田嘉文 (会員)
エンドレス ドリーム
ブロンズ
エンドレスドリーム。
絶望した時に例え夢であっても希望を抱
き前に進みたいと思います。
終わりの無い夢でありたいです。



松本治子 (会員)
矢の先をハート♡にかえて
大理石 セメント
13世紀のイタリアの教会のモザイク画の
一部を模写しました。原図は十字軍のコ
ンスタンチノーブル侵略図ですが、21世
紀に生きる私は、尖った矢先を♡に置き
換えて、侵略ではなく、世界の友好と平
和を願っています。



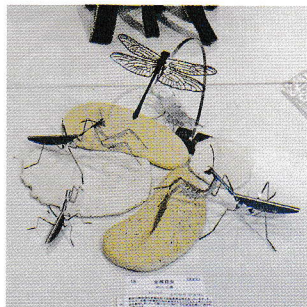
横沢和則 (一般)
Cheese House Mouse
硬質発泡アクリル+ぬいぐるみ (オリジ
ナル)
来年はねずみ年です!誰もが一度は思い
描く「お菓子の家」は、ねずみ達にとっ
てはチーズの家かもしれません。見てく
ださる方に、ひとときの癒しを感じてい
ただけると嬉しいです。…食べ過ぎ注意
です!

●特別賞

久常久美子 (逝去) ^{アユミ} 歩I
針金、紙ネンド アクリル糸



●オーディエンス賞



中川広葉 (一般) 金属昆虫
ステンレス コールテン鋼
普段は無気質な金属材料で自動車部品等造って
います。その中で、金属で有機的な物を表現する
とどうなるかと考えこの作品を製作しました。ご覧
になった時に、その昆虫を感じて頂ければ幸いです。

出品作品



神 芳子 (会員) Sen Kai
籐



妙川幸子 (一般) 実り
石膏 顔料 純金箔



久野博美 (一般) 春の天使
布フェルト 樹脂 ししゅう糸



五十嵐通代 (会員) 雪どけ
ウール ガラス糸 綿糸 ステンレス線



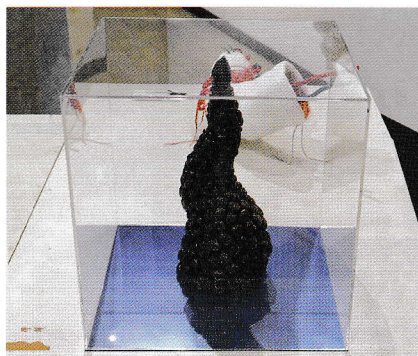
吉田 実 (会員) 情報は何kg?
紙 ヒモ



中島クミ (会員) One Foot Garden
ガラス 黒寒水石 木



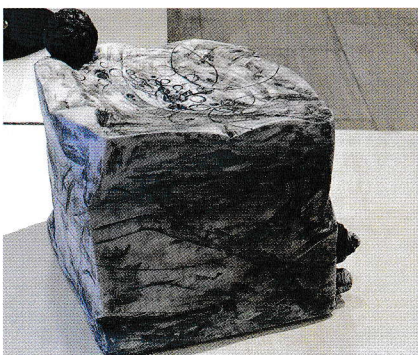
高須好子 (会員) 晴
布地—絹 糸—絹糸、綿糸、麻糸、金銀糸、ラメ糸



須齋尚子 (会員) Ascension
陶土



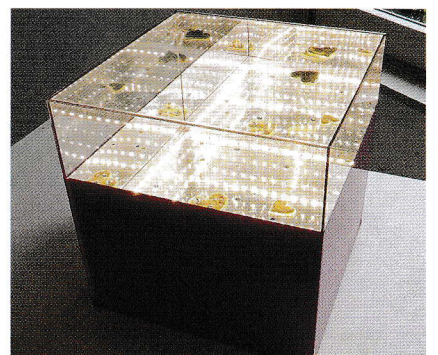
大谷美智子 (一般) 根っこ
タイシルク テグス



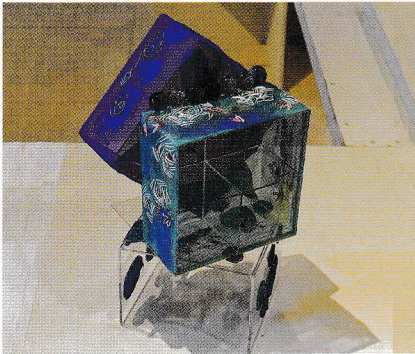
二木啓子 (一般) 覚醒の時
陶



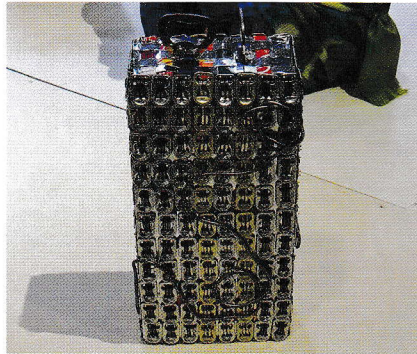
中野敦子 (一般) 折り紙の鶴
生地—シルク 糸—金色 金箔 和紙



上江洲牧子 (会員) 思い出 2
ガラス 木 金箔 アクリル LED ライト 鏡



品川未知子(会員) お花畑の小物入れⅡ
絹オーガンジー 絹糸 アクリル板 ビーズ



西田和恵(一般) Opener(栓抜き)
アルミニウム つり用糸(テグス) マクラメ結び糸



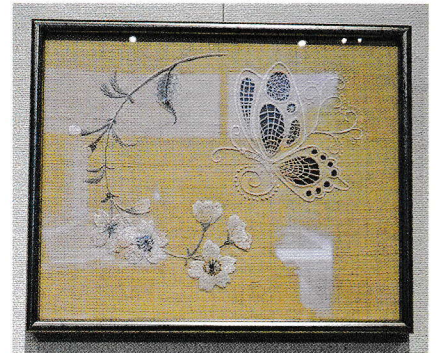
野口真理(会員) つちの虫
陶土 粉漆 金箔・玉虫箔等 釉薬 カシュー (作品協力) 有限会社大竹製作所 中川広葉氏(虫オブジェ:ステンレス)



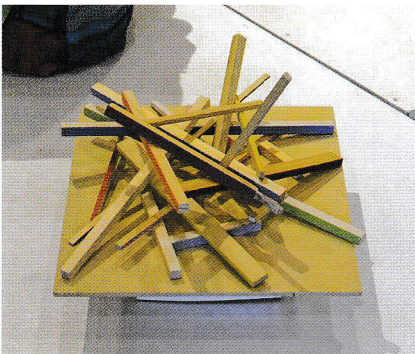
齋藤卯乃(一般) 日本漆



今井文子(一般) re-born 一旅は続く—
正絹 mixed-media



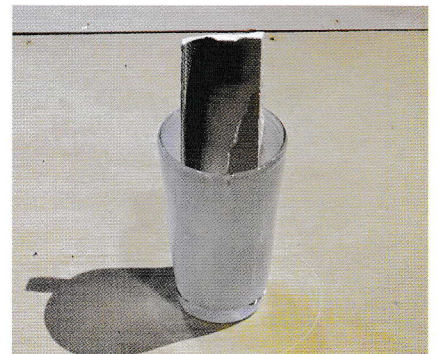
佐藤静子(会員) 桜紋揚羽蝶図
絹



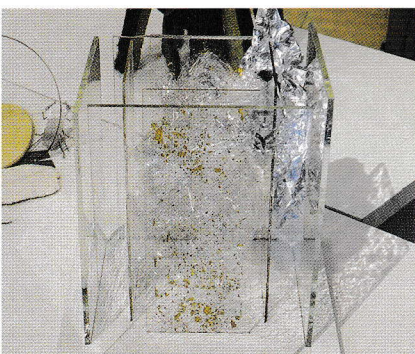
三上紀子(会員) 時のはざまに
木 アクリル



升方允子(一般) The air
ガラス 石膏



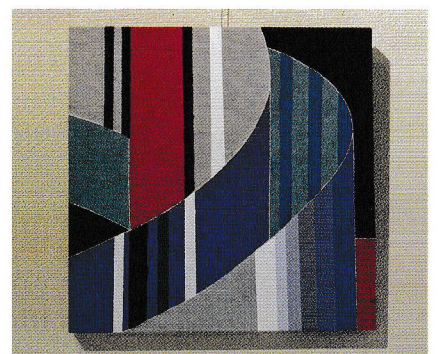
升方允子(一般) Early Blue 3
ガラス 石膏 水彩



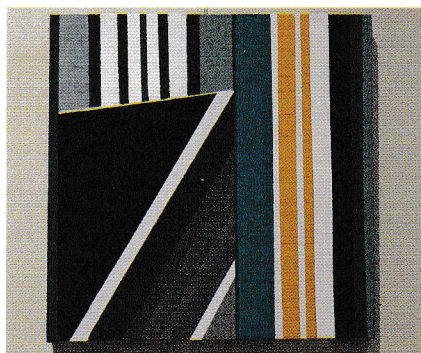
平山健雄(会員) クリアランス・クリアー
ガラス 木 サランラップ アルミホイル



中嶋クミ(会員) Pax Ⅱ
ガラス



山崎和子(会員) Some Time — A
染 絹布地



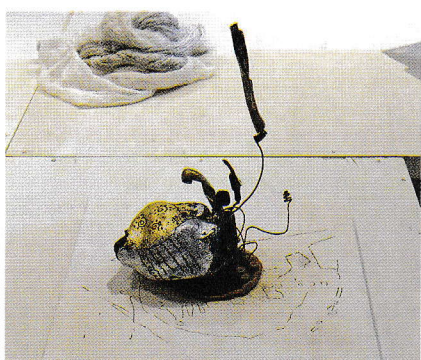
山崎和子(会員) Some Time - C
染 絹布地



鈴木法明(会員) 頭脳集団(シンクタンク)
ステンレス ペイント



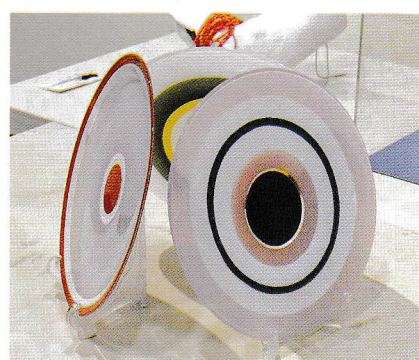
鈴木法明(会員) 思い出
チタン



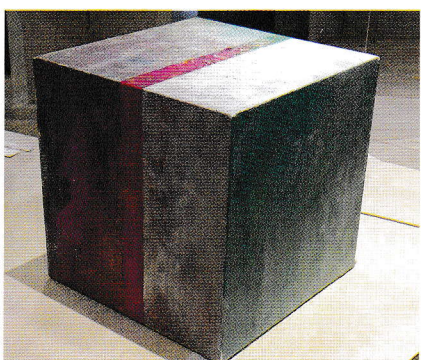
山崎輝子(会員) Seeds は命のタイムカプセル(発芽)
皮革・ワイヤー



熊木真由美(一般) 編まれた箱
ダンボール 染布



川辺彩乃(一般) COLORS
ガラス



松田静心(会員) レインボーシュガーとルビーチョコ
火山灰 アクリル アルキドテンペラ キャンバス
パネル



松田静心(会員) レインボーシュガーとルビーチョコ
火山灰 アクリル アルキドテンペラ キャンバス
パネル



黒木昭衣(一般) 游
絹地 銀糸 色銀糸 綿糸 箔



島田東秋(一般) 金銀彩線花瓶
陶土

最優秀賞を受賞して

漆芸家
日展会友
現代工芸美術家協会本会員
仏像修復師
川口 満



この度BOX展において最優秀賞を頂きありがとうございました。昨年、今年と2回目の出展ですが、普段は2倍から3倍の容積を作品として制作していますので、30センチキューブの空間で、はみ出したらいけない規制の面白さがあり、どのように出し入れの表現をするか、試行錯誤し、大変苦労しました。

題名「記憶の街」は オランダでの日本現代工芸漆芸展の出品で、訪れたアムステルダムとライデンをイメージし、レンガ作りの街とデザイン性に富んだ新しい建物を、漆の基本である、朱色、黒色をベースに新旧が共存し違和感のない都市を意識し、半分は近未来的な空間、あとの半分は昔からの歴史ある建物の空間を見て、心で感じとる都市のイメージ、配色を変えることによって表現した。同じ色でも面が変わることによって別のテーマが顔を出す面白さが立体にはありますから面で違う仕事をしました。角を曲がると違う風景、何時間でも楽しめる歴史ある街、目の高さ

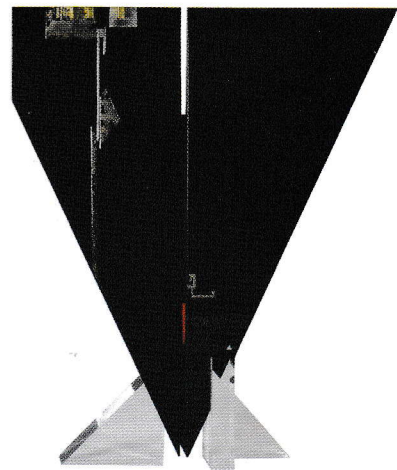
の変化でいろんな意味合いを持つ作品になるよう心掛け、説明しすぎないようにした。普段は春と秋に大きな作品を制作します。記憶がテーマです。記憶は過去のものではなく、知識の層となり、未来に向かい無から有を創出する可能性を秘めた無限の力を有します。過去・知識・創造を表現し、フォルムは逆三角形にして不安定に、アンバランスの中のバランスを求め緊張感ある作品で、朱と黒の対比を感じさせながら複合する立体の魅力が効果的にできることを願って創作しています。BOX展には続きのある作品を表現したいと思います。作品は展示台に乗った時から一人歩きます。皆様に楽しみを感じていただけるように、もの作りをしていきたいです。参加させて頂き、皆様の作品を拝見し、常にテーマにするものは身近な処にあるのに気づかされました。発表できる機会を与えて頂き感謝申し上げます。有難う御座いました。

作品の材質

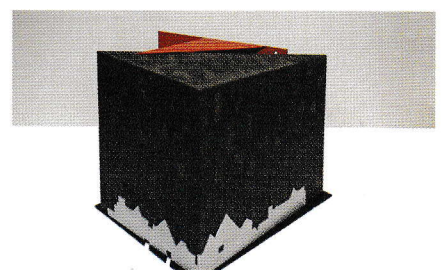
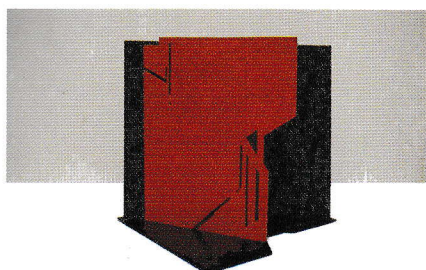
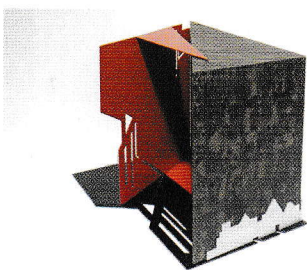
漆、糊 銅板、アルミ板、木、麻布、スズ粉、砥の粉・地の粉

工程は

- ①三角立体は木で漆と糊合わせ布を張ります
- ②砥の粉と漆混ぜ合わせた錆漆を布目摺り
- ③地の粉つけ
- ④切粉つけ
- ⑤砥石で研ぎ
- ⑥錆漆にスズ粉混ぜ文様付けて研ぎ
- ⑦朱の部分は銅板をロウズケ
- ⑧瀬漆を焼き付け
- ⑨朱漆を数回塗り研ぎだし
- ⑩磨き
- ⑪黒の部分はアルミ板で朱と同じ工程です



日展 2018



「記憶の街」